

## 令和2年度学校関係者評価アンケート結果のまとめ

愛知県立豊川特別支援学校

学校評議員・評価委員の方に2つの評価項目（安全・安心な学校生活の充実、ICTを活用した教育活動の充実）について、4段階（A：優れた取組である B：取組状況は良好である C：取組状況は物足りない D：取組状況が不十分である）で回答をいただき、具体的に寄せられました御意見を、○よい評価 □感想 ★要望・課題にまとめました。また、本校の新型コロナウイルス感染症対策についてのアンケート結果についてもまとめました。

重点目標	具体的方策	評価（自己評価）	学校関係者評価(人)			
			A	B	C	D
いじめのない学校を目指し、未然防止、早期発見に努める。（指導部）	いじめ未然防止に向けて授業や集会、指導部だよりで啓発する。また、早期発見に向けてアンケートを実施し活用する。日常の挨拶を重視する。	「虹のつばさ」や「こころとからだの健康アンケート」等を活用して約7割以上の教員がいじめ防止に対する指導ができたという回答があった。2回アンケートを実施し、記述で気になる回答については学年で対応を話し合い、いじめ不登校対策委員会で報告・審議するなど、職員間で共通理解を図ることができた。アンケートの回答方法など課題も残ったが、今後も組織で対応していきたい。	5	2	0	0
学校生活において、児童生徒、教職員の防災についての意識を高める。（指導部）	想定される災害時の状況を踏まえたより実践的な訓練を行う。災害時の行動をイラストにし校内掲示する。	避難訓練の際にシェイクアウトの姿勢をとり、頭部の安全を確保することの重要性について周知することができた。その結果、児童生徒の防災ヘルメット及び頭巾所有率は小学部98%（7月より1%増）、中学部93%（同7%増）、高等部87%（同17%増）になった。移動時にも頭部を守りながら避難する姿も見られ、児童生徒職員の意識が高まっていると感じた。継続して校内の準備を進めていけるとよい。				
児童生徒の安心安全を確保するため、緊急時の職員の迅速な対応を図る。（保健体育部）	緊急時に備え、職員が迷うことなく対応できるように、緊急対応カードを各所に配備しておく。	廊下や特別教室等にも設置することができた。実際に「緊急対応カード」を使った場面はなかったが、職員の目に付く所に設置することで、心構えをしてもらおうきっかけになっている。今後、カードと一緒に記録用紙も用意しておき、更に緊急時の対応の利便性が高まるようにしていきたい。				
読書活動の楽しさを伝えるための環境を整える。（図書部）	電子図書を導入し、その普及に取り組む。	電子図書を導入することができ、本校の利用方法の作成を始めた。図書部の職員で主に利用し、使いにくいところや使ってよかったところを話し合った。ダウンロードに手間がかかることがわかり、普及するところまではいかなかったが、CDで直接利用する方法などを引き続き図書部職員で検討している。来年度は図書室の工事もあるので、引き続き電子図書のより良い利用方法を考えていきたい。				
プログラミング教育を実践しやすい環境を整える。（情報教育部）	他校の事例を紹介するとともに、使用されているアプリを整備する。	外部講師を招へいし、小学部、中学部、高等部それぞれ計6時間ずつ、プログラミング教育を実践していただいた。また、その内容を加味しながら、より実態に合った内容で小学部5年生を対象としたプログラミング教育を実践することができた。今後は中学部や高等部にも実践を広げていきたい。				

- ◎ 本校の新型コロナウイルス感染症対策についてアンケートでは、（1）三密回避について対策が取られている。（2）学校全体で（組織的に）取り組んでいると感じる。（3）障害特性に配慮した対策が取られている。という全ての項目において良好であるという結果が得られました。

【御意見等】

- 安全安心な学校生活の充実については、新しい生活様式を確立するためにバスの台数を倍に増やし、車内の消毒や換気に注意され、学校内も消毒、人との距離、換気、湿度にも注意を図り、先生、児童生徒全員で健康観察カードを付けられとても努力をされていると思います。
- ICTを活用した教育活動の充実については、県のギガスクール構想により、県整備、学校整備でたくさんの機器の配置ができたと思います。学校休業のため、動画コンテンツを40本作りユーチューブで配信し学習支援されたことは、保護者、支援者も喜ばれたと思います。
- コロナ禍で大変頑張っていると思います。
- コロナウイルス対策がしっかりとやっていることが感じ取れます。
- 一年かけていろいろな創意工夫してコロナ対策に取り組んでいただきましてありがとうございました。
- 新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらも修学旅行を実施するなど、児童の考えを尊重し実行する職員の熱意に心打たれた。
- コロナ禍で考えられる対策全て丁寧に行われていると思いました。生徒の安全と学校生活の両立に向けて先生方の努力に頭が下がります。ICTを活用した教育活動については本当に勉強になりました。ぜひ、参考にさせていただきたいと思います。
- 今年度は感染症対策で振り回され、児童生徒の楽しみ、思い出づくりが例年どおりとはいかずとも学校側が中止にせず、できる範囲で実施されたという努力はありがたかったと思います。
- ICTを活用することで子供たちがよりよい環境で教育を受けられることを期待しています。
- ★ ICT機器については、既に御家庭でも使用され、慣れているお子さんにとっては待ち望んだ教育を受けているという印象ですが、そうでない御家庭は、機器もなく保護者も操作できない児童生徒の場合は、マイナスからのスタートになり、更に本人に興味がわかないとなるとICT教育に関しては他の教科と比べると格差がかなり出てしまうと心配しています。
- ★ 防災については、地震以外の災害にも訓練を実施してほしい。火災や水害など。
- ★ 電子図書の活用も素晴らしいが、今までのように本を読む、ページをめくるなど動作のある読書を続けてほしい。電子図書でも指でスライドするだけでなく、子供たちがわくわくするような本の読み方を工夫してほしい。LDの子供や文字を読むことが苦手な子供が読みたくなるような工夫をしてほしい。
- ★ 電子化が進んでいきますが、タブレットや大型テレビがあるから使うのではなく子供にとって有益な形で使用してほしい。
- ★ 教室の湿度の保ち方に工夫がほしい。濡れタオルだけでよいか。
- ★ 冬の上着の着用について、学校指定のウインドブレーカーに統一してほしい。フード付きが目立ちます。安全性に不安を感じます。